

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公表特許公報 (A)

(11) 特許出願公表番号

特表平11-508154

(43) 公表日 平成11年(1999) 7月21日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	F I	
A 4 5 D 34/00	5 1 0	A 4 5 D 34/00	5 1 0 B
A 6 1 K 7/00		A 6 1 K 7/00	Z
B 6 5 D 81/32		B 6 5 D 81/32	T

審査請求 未請求 予備審査請求 有 (全 31 頁)

(21) 出願番号 特願平8-535409
 (86) (22) 出願日 平成8年(1996) 5月24日
 (85) 翻訳文提出日 平成9年(1997) 11月26日
 (86) 国際出願番号 PCT/EP96/02274
 (87) 国際公開番号 WO96/37420
 (87) 国際公開日 平成8年(1996) 11月28日
 (31) 優先権主張番号 08/451, 940
 (32) 優先日 1995年5月26日
 (33) 優先権主張国 米国 (US)
 (31) 優先権主張番号 60/005, 188
 (32) 優先日 1996年5月13日
 (33) 優先権主張国 米国 (US)

(71) 出願人 ユニリーパー・ナムローゼ・ベンノート
 シャープ
 オランダ国、エヌ・エル-3013・アー・エ
 ル・ロッテルダム、ヴェーナ・455
 (72) 発明者 スワールズ, アラン・ジョージフ
 アメリカ合衆国、コネチカット・06410、
 チェシャー、ウォリンフオード・ロード・
 339
 (74) 代理人 弁理士 川口 義雄 (外1名)

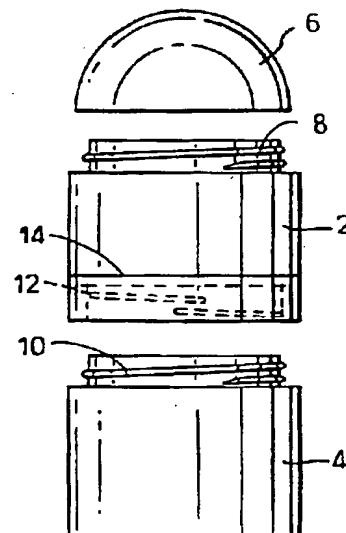
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 皮膚のためのトリートメント処理

(57) 【要約】

人間の皮膚を美容的に改善するためのトリートメント処理方法及び各製品を提供する。製品は第1の活性成分を含み、皮膚に第1の恩恵を与える機能を有する第1の組成物を含む。異なる第2の活性成分を含有し、皮膚に第2の恩恵を与える第2の組成物が提供される。第1及び第2の組成物はそれぞれ別個の容器に保存されるが、これらの容器は一緒に結合されており、消費者に組成物を連続して使用するように知らせ且つトリートメント処理に必要な全要素を一度に販売しやすくする。この目的に適したパッケージは、一方を他方の上にネジにより配置することにより、引き離し得るようにロックされ得る重ねることのできる一連の広口びんであり得る。

Fig.1.



【特許請求の範囲】

1. 第一の製剤学的に許容される担体中に少なくとも1つの第一の活性成分を含有する第一の組成物を提供し、かかる第一組成物が皮膚に第一の恩恵を与えるように機能すること；

第二の製剤学的に許容される担体中に少なくとも1つの第二の活性成分を含有する第二の組成物を提供し、かかる第二組成物が皮膚に第二の恩恵を与えるように機能し、第一と第二の活性成分および恩恵が互いに異なっていること；

第一の容器中に第一組成物を貯蔵すること；

第二の容器中に第二組成物を貯蔵し、第一と第二の容器が連結していること；

第一の恩恵を達成するために皮膚に第一組成物を適用すること；および

第二の恩恵を達成するために、第一組成物の適用後に第二組成物を皮膚に適用すること；

から成るトリートメント処理を通してヒトの皮膚を美容学的に改善する方法。

2. 第一と第二の容器が各々互いを結合するための手段を備え

ている、請求項1に記載の方法。

3. 結合のための手段がねじすじの付いたねじである、請求項2に記載の方法。

4. 第一と第二の容器が、一方の上に他方が積み重なり、結合のための手段によって、引き離すことができるようにロックされている、請求項2に記載の方法。

5. 第一と第二の容器の外壁が互いに異なる色をしている、請求項1に記載の方法。

6. 第一の容器の外壁が主として白色で、第二の容器の外壁が主として白以外の色である、請求項5に記載の方法。

7. 各々の容器がそれぞれの組成物を同時に分配しないためのそれ自体のポンプ機構を有している、請求項1に記載の方法。

8. 第一および第二組成物が、クレンジング、モイスチャライジング、トーンング、しわ防止、日焼け止め、自己日焼けのファンデーションカバーリングおよびそれらの混合から成るグループから選択される恩恵を提供する、請求項1に記載の方法。

9. 第一および第二組成物が、 α -ヒドロキシカルボン酸あるいはその塩、 β -ヒドロキシカルボン酸あるいはその塩、日焼け止め剤、レチノイド、セラミド、界面活性剤、自己日焼け剤

およびそれらの混合物から成るグループから選択される活性成分を独立して含有する、請求項1に記載の方法。

10. トリートメント処理において第一と第二の恩恵を達成するために、第一および第二組成物を連続的に一緒に使用することについての指示を容器あるいはそれに付随するパッケージに添付することによって消費者を指導することをさらに包含する、請求項1に記載の方法。

11. 第一の製剤学的に許容される担体中に少なくとも1つの第一の活性成分を含有する組成物であって、皮膚に第一の恩恵を与えるように機能する第1の組成物；

第二の製剤学的に許容される担体中に少なくとも1つの第二の活性成分を含有する組成物であって、皮膚に第二の恩恵を与えるように機能する第2の組成物；

第一組成物を貯蔵するための第一の容器；および第二組成物を貯蔵するための第二の容器を含み、第一と第二の容器が一緒に結合されていることを特徴とするスキントリートメント処理製品。

【発明の詳細な説明】

皮膚のためのトリートメント処理

発明の分野

本発明は、それぞれ皮膚に恩恵を与えるように機能する組成物を貯蔵する別々の容器で構成される皮膚のトリートメント処理に関する。

背景および先行技術

2つの目的を持った単一製剤形態の化粧品は非常に便利で人気がある。2イン1の市販製剤の例は、クレンザー & モイスチャライザーおよびシャンプー & コンディショナー製品である。残念なことに、単一製剤はしばしば個々に組み合わせられた有効成分の機能を損なうことがある。

この問題に対する答えとして、皮膚トリートメント処理が開発されてきた。これらの処理では2つ以上の異なる化粧品組成物を使用し、それらを連続的な順序で皮膚に適用する。例証となる市販のトリートメント処理の組成物は、クレンザー（洗顔料）、モイスチャライザー、トナーおよびフェーシャルファンデーションである。

スキントリートメント処理が複数の組成物の使用を必要とす

る場合、消費者の教育と訓練についての問題があった。教育は化粧品知識のある販売スタッフが、一般にいない量販市場の販路において特に問題である。消費者がトリートメント処理の1つの製品を購入することがあるが、必要な補足的処理の製品に関して知らされない場合がある。少し教育を受けた消費者であっても、誤った補助製品を選んでしまうこともある。最も欲求不満を生じさせるのは、きちんと完全な教育を受けた消費者が、その店に補助製品が置いていないことあるいは一時的に品切れになっているのを発見した時である。

消費者が教育を受け、適切な製品を供給された時でも、家庭で製品が別々に離れてしまうことがある。さらに、処理に従った使用のための必要な補給品がもはや存在しないこともある。

それ故、消費者が処理を維持するのを助ける、スキントリートメント処理のための化粧品を提供することが本発明の目的である。

勧められる組成物を1回の販売ですべて消費者に供給することを保証する、スキントリートメント処理のための複数の組成物を含む化粧品を提供することが本発明の別の目的である。

本発明のさらにもうひとつの目的は、成分組成物の適切な使

用について毎日消費者に思い出させる役割をする、スキントリートメント処理のための化粧品を提供することである。

本発明のさらに別の目的は、消費者の家庭の中で組成物の各々が離れ離れになったり、置き忘れられたりするのを避けるためにそれらを1単位として一緒に保持する、スキントリートメントのための化粧品を提供することである。

発明の要旨

次の事柄を含むトリートメント処理を通して、ヒトの皮膚を美容学的に改善するための方法を提供する：

第一の製剤学的に許容される担体の中に少なくとも1つの第一の活性成分を含む第一の組成物を提供し、かかる第一組成物が皮膚に第一の恩恵を与えるように機能すること；

第二の製剤学的に許容される担体の中に少なくとも1つの第二の活性成分を含む第二の組成物を提供し、かかる第二組成物が皮膚に第二の恩恵を与えるように機能し、第一と第二の有効成分およびそれらの恩恵が互いに異なっていること；

第一組成物を容器中で貯蔵すること；

第二組成物を第二の容器中に貯蔵し、第一の容器と第二の容器と一緒に連結されていること；

第一の恩恵を達成するために第一組成物を皮膚に適用すること；および

第二の恩恵を達成するために、第一組成物の適用後に第二組成物を皮膚に適用すること。

好ましくは、第一と第二の容器が、離すこともできる結合方法と一緒に接合されており、最も好ましくは、ねじ山の仕組みのような連結機構と一緒に接合され

ている。好都合には、第一と第二の容器が、一方が他方の上に積み重ねられ、連結機構を通して離すこともできる形でロックされている広口びんである。

また、次のものを含むスキントリートメント処理製品を提供する：

第一の製剤学的に許容される担体の中に少なくとも1つの第一の活性成分を含有する第一の組成物。かかる第一組成物は皮膚に第一の恩恵をもたらすように機能する；

第二の製剤学的に許容される担体の中に少なくとも1つの第二の活性成分を含有する第二の組成物。かかる第二組成物は皮膚に第二の恩恵をもたらすように機能する；

第一組成物を貯蔵するための第一の容器；および

第二組成物を貯蔵するための第二の容器。第一と第二の容器

は、好ましくは離すこともできる連結された形で、一緒に接合されている。

図面の簡単な説明

本発明の上記の特徴、利点および目的を、次の図を参照しながら、以下の詳細な検討を通してより十分に評価する：

図1は、離すことのできる形で一方をもう一方の上部にロックすることができる、積み重ねられた対の広口びんの透視図である；

図2は、各々の組成物を配薬するために各々の区画に結合したポンプ機構を有する2区画パッケージの斜視図である。

詳細な説明

今、複数の別々の組成物の適用を必要とするスキントリートメント処理を1単位として消費者に販売し、それを共同用途のための想起因子として使用し、同時に消費者にその適切な使用を教育することができることが見い出された。これらの利点は、2つの容器が結合されている、各々の容器中の各々の組成物の配置と販売を通して達成される。

図1は、第一の容器または広口びん2、第二の容器または広口びん4、および半球形のふた6を含む分配パッケージの最初

の具体例を図示している。第一の容器2はその開口部に、かかる広口びんを閉じ
るためにふた6にかみ合ってロックすることができる、ねじすじの付いた雄ねじ
8を備えている。第一の有効成分を含有する第一の組成物が容器2の中に貯蔵さ
れている。

第二の容器4も、同様にその開口部にねじすじの付いた雄ねじ10を備えてい
る。第二の組成物が第二の容器内に貯蔵されている。ねじすじの付いた雄ねじ1
0は、第一の容器2の閉鎖された下端14の下に配置された、ねじすじの付いた
雌ねじ12とロックするように連結することができる。好ましい具体例では、第
一の組成物を貯蔵する第一の容器2は、第二の容器4の外側の色とは異なる外側
の色を有している。たとえば、第一と第二の組成物が各々昼用と夜用に意図され
ている場合には、第一の容器2は主として白い色（昼用の製剤処理）で、第二の
容器4は主として黒い色（夜用の製剤処理）にすることができる。

「主として」という語は、容器の外壁の表面積の50%以上を意味する。色分
けは消費者に化粧品の適切な使用のための教育的シグナルを与える。

図2は、ローションあるいは他の比較的粘りけのない液体化

粧品組成物に適した分配パッケージの第二の具体例を図示している。この分配器
の具体例は、各々第一と第二の上端7、9および第一と第二の底下端11、13
を有する第一と第二の容器3、5を含む。分配薬開口部22、24を有する各々
の配薬ノズル18、20が付いた第一と第二のポンプ機構15、16が、各々の
容器の上端の上方に位置する。配薬ノズルの開口部22、24は互いに180°
反対方向を向いている。配薬ノズルの開口部が、消費者に両方のポンプ機構を同
時に押すことを思いつかせないように方向付けられていることは重要な特徴であ
る。これを避けるための方法は、配薬ノズルの開口部を少なくとも互いに60°
、最も好ましくは180°互いに離れた角度に方向付けることである。

表1は、上述した第一および第二組成物として使用することができる様々な種
類の化粧品組成物を列挙したものである。これらを、皮膚に対する主要な恩恵と
いう見地から説明する。

表 1

第一組成物	第二組成物
クレンザー	モイスチャライザー
クレンザー	にきび防止製剤
クレンザー	モイスチャライザー
クレンザー	フェーシャルファンデーション
モイスチャライザー	トナー
クレンザー	スキンライトナー
自己日焼け剤	クレンザー
クレンザー	日焼け止め剤
スキンライトナー	日焼け止め剤
日焼け止め剤	しわ防止クリーム
モイスチャライザー	日焼け止め剤

本発明が2区画だけに限定されないこと、あるいはこれらが別々の2つの組成物だけを含むことを理解しておかねばならない。たとえば、各々がそれぞれのスキントリートメント処理を含む、3から6の追加区画が存在することもありうる。1例は、各々にモイスチャライザー、クレンザー、トナーおよびフェーシャルファンデーションが入った、図1に類似した4つの広口びんの積み重ねを含むパッケージであろう。組成物の各種の取合わせは、トリートメント処理のために互いに組み合わせて

使用するためのものであることを強調しておかねばならない。これが、たとえば、多様な化粧品を保管することができるが、一連のカラーパウダー等のように各々が独立して機能する旅行用キットとは異なっている点である。

少なくとも1つの活性成分が別々の組成物のそれぞれの中に含有されており、かかる活性成分は、そのために組成物が適用される恩恵を供給送達するための主要な機能成分として存在する。

日焼け止め剤組成物は、もちろん日焼け止め剤を活性成分として含有する。「日焼け止め剤」という用語は、290 nmから420 nmまでの波長域内の吸収を抑制する紫外線遮断化合物を表わすために使用される。これらの化合物は有機あるいは無機のいずれでもよい。有機化合物が好ましい。日焼け止め剤が無機であって、唯一の日焼け防止物質として働く時には、適切に約5～30%、好ましくは8～15重量%の範囲のレベルで存在する。

代表的な無機日焼け止め剤は、二酸化チタン、酸化亜鉛、酸化鉄、およびそれらの組合せを含む。最も好ましいのは二酸化チタンであり、特に平均粒子サイズが700 nm以下、好まし

くは200 nm以下、最適には35 nm未満のものである。

有機日焼け止め剤は、それらの化学構造に基づいて5つのグループに分類することができる：パラ-アミノベンゾエート；サリシレート；シンナメート；ベンゾフェノン；クマリン；アゾールおよびメンチルアントラリネートを含む種々の化学物質。また、ポリエチレンやポリアミドのようなポリマー粒子も有用と考えられる。有機日焼け止め剤化合物は、代表的には0.1～25%、最適には1～15%、最も好ましくは5～10重量%の範囲の量である。

しわ防止組成物は通常、 α -ヒドロキシカルボン酸あるいはその塩、 β -ヒドロキシカルボン酸あるいはその塩、レチノイド、セラミドおよびそれらの組合せのような1つ以上の活性成分を含む。

広い種類の C_2-C_{30} の α -ヒドロキシカルボン酸が使用できる。その適切な例は次のものを含む：

α -ヒドロキシ酢酸

α -ヒドロキシプロパン酸

α -ヒドロキシヘキサン酸

α -ヒドロキシオクタン酸

α -ヒドロキシデカン酸

α -ヒドロキシドデカン酸

α -ヒドロキシテトラデカン酸

α -ヒドロキシヘキサデカン酸

α -ヒドロキシオクタデカン酸

α -ヒドロキシエイコサン酸

α -ヒドロキシドコサン酸

α -ヒドロキシヘキサコサン酸、および

α -ヒドロキシオクタコサン酸

上記のリストから特に好ましいのは α -ヒドロキシ酢酸（一般にはグリコール酸として知られる）、 α -ヒドロキシプロパン酸（一般には乳酸として知られる）、および α -ヒドロキシオクタン酸（一般には α -ヒドロキシカプリル酸またはHCAとして知られる）である。

適切な C_2-C_{30} の β -ヒドロキシカルボン酸あるいはその塩は、通常サリチル酸の誘導体から、特にそれらのエステルから選択される。

本発明では、 α -ヒドロキシカルボン酸および β -ヒドロキシカルボン酸という用語は、酸形態だけでなくその塩も含むこ

とが意図されている。代表的な塩は、アルカリ金属、アンモニウムおよび C_2-C_{60} のアンモニウム塩である。特に好ましいのは、ナトリウム、カリウム、トリエタノールアンモニウム、ポリエチレンイミンおよびアンモニウム塩である。前記のすべての組合せが組成物中に存在しうる。 α -あるいは β -ヒドロキシカルボン酸またはその塩の量は、適切には0.01~約15%、好ましくは0.1~約12%、最適には0.5~約9重量%の範囲をとりうる。

適切なレチノイドは、レチノール、レチノイン酸あるいはレチノールおよびレチノイン酸の C_1-C_{20} エステルである。例証となるセラミドは、セラミド1、セラミド2、セラミド3およびセラミド6である。擬セラミドも有用と考えられる。レチノイドおよびセラミドのレベルは、適切には0.00001~2%、好ましくは0.0001~0.1重量%の範囲である。

界面活性剤が本発明のクレンザー組成物のための有効成分として含まれる。これらは非イオン性、陰イオン性、陽イオン性あるいは両性の乳化剤から選択され

うる。それらの量は適切には0.1～30重量%の範囲をとりうる。非イオン性界面活性剤の例は、 C_6-C_{22} の脂肪族アルコール、 C_8-C_{22} の脂肪

酸およびソルビタンに基づくアルコキシル化合物である。

スキンライトナー (skin lightener) は、コウジ酸、ニコチンアミド、ヒドロキノンおよびこれらの物質の誘導体のような活性成分を含む。量は、典型的には0.001～10重量%の範囲である。

自己日焼け剤組成物 (self-tanning composition) は通常、ジヒドロキシアセトンのような活性成分を、おそらくアミンおよび/あるいはアミノ酸との組合せで含有する。組合せた活性成分の量は、適切には1%～30重量%の範囲である。

にきび予防剤は通常、過酸化ベンゾイル、 α -ヒドロキシカルボン酸、サリチル酸、レチノイドおよびそれらの誘導体から成る群から選択される活性成分を含む。これらの物質の量は、適切には組成物の0.1～30重量%の範囲である。

本発明の第一、第二あるいはその他の組成物は、固体あるいは液体、水性あるいは無水、ならびに不透明あるいは透明でありうる。

製剤学的に許容される担体は、通常は第一および第二組成物の活性成分を供給送達するために使用される。最も好ましくは、本発明の化粧品組成物は乳剤形態である。定義によると、乳剤

とは少なくとも2つの不混和性の液体相を含む分散系であって、そのうちの1つが他方の全体に微細な小滴の形で分散している。水と油が最も一般的な不混和相である。油が水相全体に小滴として分散している乳剤は水中油型乳剤と呼ばれる。水が分散相で、油が分散媒質である時には、油中水型乳剤が存在する。本発明の範囲内で想定される乳剤は、両方のタイプの乳剤のローションおよびクリームの形態、水相が連続的であるもの、および油相が連続的であるものである。これらの相の量は、適切には99:1～1:99重量の範囲をとりうる。

本発明に従った「製剤学的に許容される担体」という用語は、皮膚軟化剤、湿

潤剤、濃厚剤、シリコーンおよび水を含む。かかる担体の総量は、適切には30～99.9%、好ましくは50～90%、最適には70～85重量%の範囲をとりうる。

様々な油性皮膚軟化剤が本発明の組成物において使用できる。これらの皮膚軟化剤は、次の分類の1つ以上から選択される：

1. 炭化水素油およびろう。その例は、鉱油、ワセリン、パラフィン、セレシン、オゾケライト、微晶質ろう、ポリエチレン、およびペルヒドロスクアレンである。

2. 植物性および動物性の脂肪および油のようなトリグリセリ

ドエステル。例は、ヒマシ油、ココアバター、ベニバナ油、綿実油、コーン油、オリーブ油、タラ肝油、アーモンド油、アボカド油、パーム油、ゴマ油、スクアレン、およびマレイン化ダイズ油を含む。

3. アセチル化モノグリセリドのようなアセトグリセリドエステル。

4. エトキシル化モノステアリン酸グリセリルのようなエトキシル化グリセリド。

5. 10～22個の炭素原子を持つ脂肪酸のアルキルエステル。脂肪酸のメチル、イソプロピルおよびブチルエステルは本発明において有用である。例は、ラウリン酸ヘキシル、ラウリン酸イソヘキシル、パルミチン酸イソヘキシル、パルミチン酸イソプロピル、オレイン酸デシル、オレイン酸イソデシル、ステアリン酸ヘキサデシル、ステアリン酸デシル、イソステアリン酸イソプロピル、アジピン酸ジイソプロピル、アジピン酸ジイソヘキシル、アジピン酸ジヘキシルデシル、ジイソプロピルセバケート、乳酸ラウリル、乳酸ミリスチル、および乳酸セチルを含む。

6. 10～22個の炭素原子を持つ脂肪酸のアルケニルエステ

ル。その例は、ミリスチン酸オレイル、ステアリン酸オレイル、およびオレイン酸オレイルを含む。

7. 10～22個の炭素原子を持つ脂肪酸。適切な例は、ペラルゴン酸、ラウリ

ン酸、ミリスチン酸、パルミチン酸、ステアリン酸、イソステアリン酸、ヒドロキシステアリン酸、オレイン酸、リノール酸、リシノール酸、アラキドン酸、ベヘン酸、およびエルカ酸を含む。

8. 10～22個の炭素原子を持つ脂肪族アルコール。ラウリル、ミリスチル、セチル、ヘキサデシル、ステアリル、イソステアリル、ヒドロキシステアリル、オレイル、リシノレイル、ベヘニル、エルシル、および2-オクチルドデカニルアルコールが満足しうる脂肪族アルコールの例である。

9. 脂肪族アルコールのエーテル。ラウリル、セチル、ステアリル、イソステアリル、オレイルおよびコレステロールアルコールを含む、10～22個の炭素原子を持つエトキシ化脂肪族アルコールに、1～50個の酸化エチレン基あるいは1～50個の酸化プロピレン基が結合しているもの。

10. エトキシ化脂肪族アルコールの脂肪酸エステルのようなエーテル-エステル。

11. ラノリンおよび誘導体。ラノリン、ラノリン油、ラノリンろう、ラノリンアルコール、ラノリン脂肪酸、イソプロピルラノレート、エトキシ化ラノリン、エトキシ化ラノリンアルコール、エトキシ化コレステロール、プロポキシ化ラノリンアルコール、アセチル化ラノリンアルコール、リノール酸ラノリンアルコール、リシノール酸ラノリンアルコール、リシノール酸ラノリンアルコールのアセテート、エトキシ化アルコール-エステルのアセテート、ラノリンの加水素分解物、エトキシ化水素化ラノリン、エトキシ化ソルビトールラノリン、および液体と半固体のラノリン吸収塩基が、ラノリンから誘導される皮膚軟化剤の例である。

12. 多価アルコールエステル。エチレングリコールの一および二脂肪酸エステル、ジエチレングリコールの一および二脂肪酸エステル、ポリエチレングリコール(200～6000)の一および二脂肪酸エステル、プロピレングリコールの一および二脂肪酸エステル、ポリプロピレングリコール2000のモノオレエート、ポリプロピレングリコール2000のモノステアレート、エトキシ化プロピレングリコールモノステアレート、グリセリル一および二脂肪酸エステル、ポ

リグリセロールの多

脂肪酸エステル、エトキシ化グリセリルモノステアレート、1, 3-ブチレングリコールモノステアレート、1, 3-ブチレングリコールジステアレート、ポリオキシエチレンポリオール脂肪酸エステル、ソルビタン脂肪酸エステル、およびポリオキシエチレンソルビタン脂肪酸エステルが、満足しうる多価アルコールエステルである。

13. 蜜ろう、鯨ろう、ミリスチルミリステート、ステアシルステアレートのようなるエステル。

14. 蜜ろう誘導体、たとえばポリオキシエチレンソルビトール蜜ろう。これらは、多様な酸化エチレン含量のエトキシ化ソルビトールと蜜ろうの反応産物で、エーテルエステルの混合物を形成する。

15. カルナウバおよびカンデリラろうを含む植物ろう。

16. レシチンおよび誘導体のようなりん脂質。

17. ステロール。コレステロール、コレステロール脂肪酸エステルがその例である。

18. 脂肪酸アミド、エトキシ化脂肪酸アミド、固形脂肪酸アルカノールアミドのようなアミド。

上記に列挙した皮膚軟化剤の量は、適切には全組成物の

0.5～80重量%の範囲をとりうる。好ましくはこれらの皮膚軟化剤の量は1～25%、最適には5～15重量%の範囲である。

多価アルコール型の湿潤剤も本発明の組成物に含まれる。湿潤剤は皮膚軟化剤の有効性を高めるのを助け、落屑を減少させ、生じた落屑の除去を促進し、皮膚の手触りを改善する。典型的な多価アルコールは、プロピレングリコール、ジプロピレングリコール、ポリプロピレングリコール、ポリエチレングリコールおよびそれらの誘導体、ソルビトール、ヒドロキシプロピルソルビトール、ヘキシレングリコール、1, 3-ブチレングリコール、1, 2, 6-ヘキサントリオール、エトキシ化グリセロール、プロポキシ化グリセロールおよびそれらの混

合物を含む、ポリアルキレングリコール、より好ましくはアルキレンポリオールとその誘導体を含む。最良の結果を得るためには、湿潤剤はグリセロールが好ましい。湿潤剤の量は、適切に組成物の0.1~40%、好ましくは1~15重量%の範囲をとりうる。

滑らかさを改善するために、ジメチルポリシロキサン、メチルフェニルポリシロキサンおよびアルコール可溶性のシリコー

ングリコールコポリマーから選択される1つ以上のシリコーン油あるいはシリコーン流体も含みうる。好ましいシロキサンは、ジメチルポリシロキサン（CTFA名：ジメチコン）、トリメチル単位で末端遮断したポリシロキサンおよびポリジメチルシクロシロキサン（CTFA名：シクロメチコン）を含む。好ましいシロキサンは、25℃で2~50センチストークの粘度を示す。シリコーンの量は、組成物の0.1~80重量%、好ましくは約1~20重量%の範囲をとりうる。

本発明の第一および第二組成物のいずれも、適切には組成物の0.01~10重量%の量で濃厚剤／増粘剤を含みうる。当業者には周知のように、濃厚剤の正確な量は、所望する組成物のねばりと濃厚さに応じて変化しうる。典型的な濃厚剤は、ケ

イ酸マグネシウムアルミニウム（Vee gum®）、グアーゴム（Jaguar HP-120®のような）、キサンタンゴ

ム、カルボキシメチルセルロースナトリウム、ヒドロキシアル

キルおよびアルキルセルロース、ならびにCarbopol®の商標名でB. F. Goodrichによって販売されているもののような架橋アクリル酸ポリマーである。

防腐剤は、望ましくは、潜在的有害な微生物の増殖に対して

保護するために本発明の第一および第二組成物の両方に含まれうる。微生物の増殖が起こりやすいのは水相においてであるが、微生物は油相にも存在しうる。そ

れ自体で、水と油の両方に可溶性のある防腐剤を本発明の組成物中で用いることが好ましい。

本発明の組成物のための適切な伝統的防腐剤は、*p*-ヒドロキシ安息香酸のアルキルエステルである。最近使用されるようになった他の防腐剤には、ヒダントイン誘導体、プロピオン酸塩、および様々な第四アンモニウム化合物が含まれる。美容化学者は適切な防腐剤に精通しており、防腐剤誘発試験を満たし、製品安定性を提供するためにそれらを常套的に選択している。特に好ましい防腐剤は、メチルパラベン、イミダゾリジニル尿素、デヒドロキシアセテートナトリウム、プロピルパラベンおよびベンジルアルコールである。防腐剤は、組成物の用途および防腐剤と乳剤中の他の成分との配合禁忌の可能性を考慮して選択すべきである。防腐剤は、好ましくは組成物の0.01%~2重量%の範囲の量で用いられる。

組成物中に水分が存在する時には、その量は適切には1~99%、好ましくは20~90%、最適には40~70重量%の範囲をとりうる。

本発明の好ましい局面では、第一および第二の組成物は各々少なくとも5個の共通する成分を持つ。さらに、該5個の成分は第一と第二の組成物中に基本的に同じ濃度で存在する。

以下の実施例は本発明の組成物の具体例をより詳細に例示するものである。本文中および付属の特許請求の中で言及されるすべての部分、パーセンテージおよび比率は、特に記載がない限り重量ベースである。

実施例 1

皮膚の損傷を予防し、矯正するためのトリートメント処理において、日焼け止め剤を活性成分として使用し、皮膚に日焼け防止の恩恵を与える第一組成物を使用した。この組成物は昼間の防止を意図している。処理の一部として、日光によって受けた損傷を矯正するための活性成分として使用される α -ヒドロキシカルボン酸を含む矯正しわ防止製剤を夜に適用した。この第二のしわ防止組成物は夜間の着用のために適用した。

表 2

日焼け止め（防止）剤組成物

成 分	重 量 %
Parsol MCX [®]	4.00
ステアリン酸	3.00
Finsolv TN [®]	3.00
ブチレングリコール	2.00
グリセリン	2.00
MYRJ 59 [®]	2.00
Uvinul M-40 [®]	2.00
Crodamol ISNP [®]	2.00
モノステアリン酸グリセロール	1.50
ステアリルアルコール	1.50
グリコール酸（70%）	1.40
トリエタノールアミン（99%）	1.20
乳酸	1.15
ケイ酸マグネシウムアルミニウム	1.00
Arlacel 60 [®]	1.00
Silicone 1401 [®]	0.80
ETDA ニナトリウム	0.50
Jaguar HP-120 [®]	0.50
コレステロール	0.30
アンモニア（水性26BE）	0.30
香料	0.30
Tween 80 [®]	0.30
ポリエチレンイミン	0.25
メチルバラベン	0.15
ビタミンEアセテート	0.10
プロピルバラベン	0.10
ヒドロキシカプリル酸	0.10
パルミチン酸ビタミンA	0.10
水	適量

表 3
しわ防止（矯正）剤組成物

成 分	重 量 %
グリコール酸（70％）	5.74
ブチレングリコール	3.00
Hetester® FA0/Fine	3.00
ステアリン酸	3.00
Finsolv TN®	2.50
Ceraphyl 230®	2.50
アンモニア（水性26BE）	2.20
グリセリン	2.00
Myrj 59®	2.00
ポリエチレンイミン	2.00
ステアリルアルコール	1.50
モノステアリン酸グリセロール	1.50
トリエタノールアミン（99％）	1.20
ケイ酸マグネシウムアルミニウム	1.00
SE 700	1.00
シリコーン流体10	1.00
Arlacel 60®	1.00
Dow Corning 1401®	0.80
Jaguar HP-120®	0.50
EDTA二ナトリウム	0.50
ナトリウムステアロイルラクチレート	0.50
コレステロール	0.30
香料	0.30
Tween 80®	0.30
メチルパラベン	0.15
消泡性乳剤	0.10
ビタミンEアセテート	0.10
プロピルパラベン	0.10
ヒドロキシカプリル酸	0.10
パルミチン酸ビタミンA	0.10
ピサボロール	0.10
水	適量

実施例 2

この実施例は、クレンザーとスキンライトニング処理の組合せを例示するものである。表4のクレンザーを最初に皮膚に適用する。次に水で洗顔し、ふき取っ

て、その後に表5のスキンライトニング製剤を顔に適用した。

表 4
クレンザー

成 分	重 量 %
グリセリン	1.50
ポリオキシエチレン水素化ヒマシ油	1.50
ステアリン酸ソルビタン	1.00
スクアラン	10.00
ジプロピレングリコール	5.00
ゲニステイン	0.10
水	適量 100.00

表 5
スキンライトナー

成 分	重 量 %
ポリソルベート 80	1.00
エチルアルコール	3.00
ポリエチレングリコール - 600	5.00
クエン酸	0.03
クエン酸ナトリウム	0.20
1-0-エチルテトラアセチルグルコサミン	0.10
メチルパラベン	0.10
香料	適量
水	適量 100.00

実施例 3

この実施例は、モイスチャライザーとしわ防止クリームの組合せの処理を例示するものである。最初にモイスチャライザーを皮膚に適用する。その後しわ防止クリームを使用してモイスチャライザーを被覆する。表6および7はこれらの組成物を例示している。

表 6
モイスチャライザー

成 分	重 量 %
グリセリン α -メチルエーテル	10.00
クエン酸	0.03
クエン酸ナトリウム	0.07
ポリオキシエチレンオレイルエーテル	0.50
エチルアルコール	5.00
メチルパラベン	0.10
香料	適量
水	適量 10.00

表 7
しわ防止クリーム

成 分	重 量 %
ポリソルベート 60	3.00
ステアリン酸ソルビタン	3.00
セチルアルコール	1.00
鉱油	8.00
グリセリン	1.00
メチルパラベン	0.10
乳酸アンモニウム	3.70
水	適量 100.00

実施例 4

この実施例は、クレンザーとトナーを顔に適用する処理を例示するものである。最初にクレンザーを適用する。少なくとも5分間洗い流した後、トナーを顔に付ける。表8および9はこれらの組成物を例示している。

表 8
クレンジャー

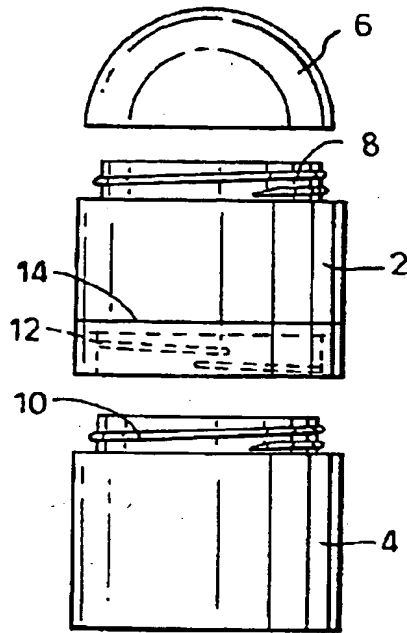
相	成分	重量%
A	脱イオン化水	43.03
	アラントイン	0.50
	メチルパラベン	0.20
	エチレンジアミン四酢酸	0.02
	イミダゾリジニル尿素	0.30
B	プロピレングリコール	6.00
	ケイ酸マグネシウムアルミニウム	1.00
B	カルボキシメチルセルロースナトリウム	0.10
C	ステアリルアルコール	1.50
	セチルアルコール	3.00
	モノステアリン酸グリセリルおよびポリオキシエチレン (100) モノステアレート	2.00
	ポリオキシエチレン (10) ダイズステロール	2.50
	ポリオキシエチレン (3) ミリスチルエーテルミリステート	15.00
	スクアラン	15.00
	シリコーン流体 344 [®]	12.00
	プロピルパラベン	0.10
	ブチルパラベン	0.10
	脱イオン化水	0.50
	Dowicil 200 [®]	0.15

表 9
トナー

相	成分	重量%
A	脱イオン化水	10.00
	Carbopol 941®	0.10
B	脱イオン化水	82.90
	グリセリン	2.00
	メチルパラベン	0.20
	アラントイン	0.30
	イミダゾリジニル尿素	0.30
C	アセチル化ポリオキシエチレン(10) ラノリンアルコール	1.00
	セチル/ステアリル2-エチルヘキサノエート	1.00
	プロピルパラベン	0.10
D	脱イオン化水	2.00
	98%トリエタノールアミン	0.10

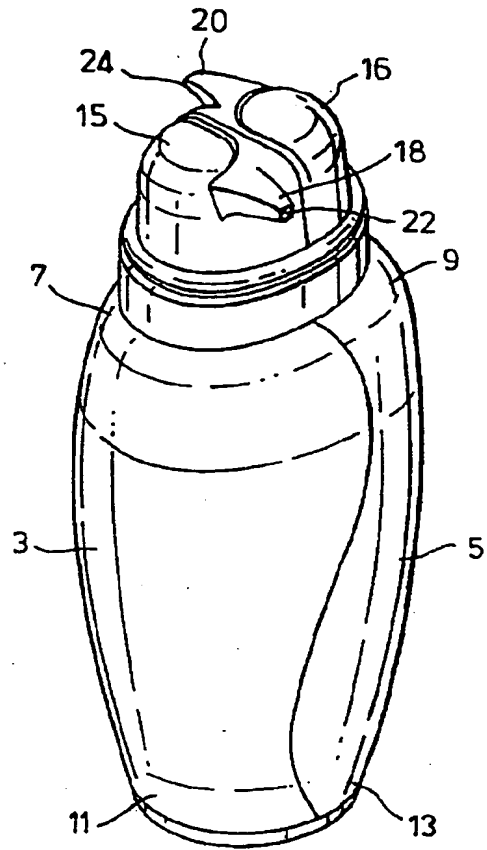
【図1】

Fig.1.



【図2】

Fig.2.



【手続補正書】特許法第184条の8第1項

【提出日】1997年6月4日

【補正内容】

皮膚のためのトリートメント処理

発明の分野

本発明は、それぞれ皮膚に恩恵をもたらすように働く組成物が貯蔵されている別々の複数の容器で構成される皮膚のトリートメント処理に関する。

背景および先行技術

2つの目的を持った単一製剤形態の化粧品は非常に便利で人気がある。2イン1の市販製剤の例は、クレンザー&モイスチャライザーおよびシャンプー&コンディショナー製品である。残念なことに、単一製剤はしばしば個々に組み合わせられた有効成分の機能を損なってしまう。

この問題に対する答えとして、皮膚トリートメント処理が開発された。かかる処理では2つ以上の異なる化粧品組成物が使用されており、それらを連続的な順序で皮膚に適用する。例証となる市販のトリートメント処理の組成物は、クレンザー、モイスチャライザー、トナーおよびフェーシャルファンデーションである。

化粧品類、薬剤および他の物質を配薬するための多区画に分

けられた容器がNL-A-9 301 506、DE-A-2.9 04 478およびCH-A-585 647の中で述べられている。これらの容器は、旅行に有用であり、化粧台の美観を改善することが示唆されてきた。

スキントリートメント処理が多くの組成物の使用を必要とする場合、消費者の教育と訓練についての問題があった。教育は、化粧品知識のある販売スタッフが一般にいない量販市場の販路において特に問題である。消費者がトリートメント処理の1つの製品を購入することがあるが、必要な補足的処理の製品に関して知らされない場合がある。少し教育を受けた消費者であっても、誤った補助製品を選んでしまうこともある。最も欲求不満を生じさせるのは、きちんと完全な教育を受けた消費者が、その店に補助製品が置いていないことあるいは一時的に品切

れているのを発見した時である。

請求の範囲

1. 第一の製剤学的に許容される担体中に少なくとも1つの第一の活性成分を含有する第一の組成物を提供し、かかる第一組成物が皮膚に第一の恩恵を与えるように機能すること；

第二の製剤学的に許容される担体中に少なくとも1つの第二の活性成分を含有する第二の組成物を提供し、かかる第二組成物が皮膚に第二の恩恵を与えるように機能し、第一と第二の活性成分および恩恵が互いに異なっていること；

第一の容器中に第一組成物を貯蔵すること；

第二の容器中に第二組成物を貯蔵し、第一と第二の容器が連結していること；

トリートメント処理において第一と第二の恩恵を達成するために、連続的に一緒に作用する第一および第二組成物の使用についての指示を容器あるいはそれに付随するパッケージに添付することによって消費者を指導すること；

第一の恩恵を達成するために皮膚に第一組成物を適用すること；および

第二の恩恵を達成するために、第一組成物の適用後に第二組

成物を皮膚に適用すること；

から成るトリートメント処理を通してヒトの皮膚を美容学的に改善する方法。

2. 第一と第二の容器が各々互いを結合するための手段を備えている、請求項1に記載の方法。

3. 結合のための手段がねじすじの付いたねじである、請求項2に記載の方法。

4. 第一と第二の容器が、一方の上に他方が積み重なり、結合のための手段によって、引き離すことができるようにロックされている請求項2あるいは請求項3に記載の方法。

5. 第一と第二の容器の外壁が互いに異なる色をしている、請求項1～4のいずれかに記載の方法。

6. 第一の容器の外壁が主として白色で、第二の容器の外壁が主として白以外の色である、請求項5に記載の方法。

7. 各々の容器がそれぞれの組成物を非同時の分配用にそれ自体のポンプ機構を有している、請求項1～6のいずれかに記載の方法。

8. 第一および第二組成物が、クレンジング、モイスチャライジング、トーニング (toning)、しわ防止、日焼け止め剤、自

己日焼けのファンデーションカバーリングおよびそれらの混合から成るグループから選択される恩恵を提供する、請求項1に記載の方法。

9. 第一および第二組成物が、 α -ヒドロキシカルボン酸あるいはその塩、 β -ヒドロキシカルボン酸あるいはその塩、日焼け止め剤、レチノイド、セラミド、界面活性剤、自己日焼け剤およびそれらの混合物から成るグループから選択される活性成分を独立して含有する、請求項1～8のいずれかに記載の方法。

10. 第一の製剤学的に許容される担体中に少なくとも1つの第一の活性成分を含有する組成物であって、皮膚に第一の恩恵を与えるように機能する第1組成物；

第二の製剤学的に許容される担体中に少なくとも1つの第二の活性成分を含有する組成物であって、皮膚に第二の恩恵を与えるように機能する第2組成物；

第一組成物を貯蔵するための第一の容器；

第二組成物を貯蔵するための容器であって、第一の容器と一緒に結合されている第二の容器；

トリートメント処理において第一と第二の恩恵を達成するために、連続的に一緒に作用する第一および第二組成物の使用に

関する容器あるいはそれに付随するパッケージに添付された消費者のための指示；

を含むスキントリートメント処理製品。

【国際調査報告】

INTERNATIONAL SEARCH REPORT		International Application No. PCT/EP 96/02274
A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER IPC 6 B65D81/32 B65D21/02 A61K7/00 A61K7/48		
According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC:		
B. FIELDS SEARCHED Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols) IPC 6 B65D A61K A47K		
Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched		
Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practical, search terms used)		
C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT		
Category *	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X	NL,A,9 301 506 (CORNELIS ELIZABETH RIJLAARSDAM) 3 April 1995	1,2,5,6, 8-11
Y	see claims 1-6,8-14 see page 3, line 16-23 see figure 3	3,4,7
Y	DE,A,29 04 478 (BURCKHARDT) 21 August 1980 see page 4, line 1 - page 7, line 8; claims; figures	3,4
A	US,A,5 409 128 (MITCHELL) 25 April 1995 see abstract; figures	2-6
Y	EP,A,0 318 834 (FIEDLER) 7 June 1989 see abstract; figures	7
-/-		
<input checked="" type="checkbox"/> Further documents are listed in the continuation of box C. <input checked="" type="checkbox"/> Patent family members are listed in annex.		
* Special categories of cited documents: "A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance "E" earlier document but published on or after the international filing date "L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified) "O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means "P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed "T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention "X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone "Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art "Z" document member of the same patent family		
Date of the actual completion of the international search 13 September 1996		Date of making of the international search report 20.09.96
Name and mailing address of the ISA European Patent Office, P.B. 5118 Patentlaan 2 NL - 2280 HV Rijswijk Tel. (+ 31-70) 340-2040, Tx. 31 631 epo nl, Fax (+ 31-70) 340-3016		Authorized officer SERRANO GALARRAGA, J

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

Int. Patent Application No.

PCT/EP 96/02274

C.(Continuation) DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	US,A,5 306 486 (MCCOOK JOHN P ET AL) 26 April 1994 see claims 1,2 see examples 4-6 ---	1,8,11
A	EP,A,0 501 714 (UNILEVER PLC ;UNILEVER NV (NL)) 2 September 1992 see claims 12-15 see example 5 ---	1,8,11
A	WO,A,94 06405 (PERRICONE NICHOLAS V) 31 March 1994 see page 3, line 20 - page 4, line 9 see page 5, line 13-23 see claims 1-9 ---	1,8,9,11
A	EP,A,0 345 082 (HAYASHIBARA BIOCHEM LAB ;SANSHO SEIYAKU KK (JP); MISHIMA YUTAKA (J)) 6 December 1989 see page 30, line 15-26 see claims 1-15 see examples 4-6,8-10 see examples 14-16,18-20 ---	1,8,9,11
A	DE,A,39 11 089 (HEITLAND UND PETRE INTERNATION) 25 October 1990 Abstract see column 1, line 1-15 see column 1, line 65 - column 2, line 5 see column 4, line 32-36 ---	1,2
A	GB,A,2 231 782 (JORDAN VALERIE LILIAN) 28 November 1990 see the whole document ---	1
A	CH,A,585 647 (SEBAMAT-CHEMIE GMBH) 15 March 1977 see the whole document -----	1

INTERNATIONAL SEARCH REPORT
 Information on patent family members

In International Application No.

PCT/EP 96/02274

Patent document cited in search report	Publication date	Patent family member(s)	Publication date
NL-A-9301506	03-04-95	NONE	
DE-A-2904478	21-08-80	NONE	
US-A-5409128	25-04-95	CA-A- 2145002	07-10-95
EP-A-318834	07-06-89	DE-C- 3741086	16-03-89
		US-A- 4949874	21-08-90
US-A-5306486	26-04-94	AU-A- 5141994	26-09-94
		WO-A- 9420066	15-09-94
		ZA-A- 9401172	21-08-95
EP-A-0501714	02-09-92	US-A- 5135748	04-08-92
		US-A- 5159624	08-12-92
		AU-B- 655229	08-12-94
		AU-A- 1135692	03-09-92
		CA-A- 2061679	29-08-92
		JP-B- 7014848	22-02-95
		ZA-A- 9201521	30-08-93
WO-A-9406405	31-03-94	NONE	
EP-A-0345082	06-12-89	JP-A- 2193917	31-07-90
		JP-A- 1305025	08-12-89
DE-A-3911089	25-10-90	NONE	
GB-A-2231782	28-11-90	NONE	
CH-A-585647	15-03-77	BE-A- 821257	18-04-75

フロントページの続き

(81)指定国 EP(AT, BE, CH, DE, DK, ES, FI, FR, GB, GR, IE, IT, LU, MC, NL, PT, SE), OA(BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, ML, MR, NE, SN, TD, TG), AP(KE, LS, MW, SD, SZ, UG), UA(AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), AL, AM, AT, AU, AZ, BB, BG, BR, BY, CA, CH, CN, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, GB, GE, HU, IS, JP, KE, KG, KP, KR, KZ, LK, LR, LS, LT, LU, LV, MD, MG, MK, MN, MW, MX, NO, NZ, PL, PT, RO, RU, SD, SE, SG, SI, SK, TJ, TM, TR, TT, UA, UG, UZ, VN

(72)発明者 ネットシーム, スーザン

アメリカ合衆国、ニュー・ヨーク・10023、
ニュー・ヨーク、ウエスト・シツクステ
イ・セカンド・ストリート・61、アパート
メント・4・デイ

(72)発明者 インダースキー, マイクル

アメリカ合衆国、コネチカット・06430、
フェアフィールド、バーチフィールド・ド
ライブ・104

(72)発明者 ベルトリーニ, ビーター

アメリカ合衆国、コネチカット・06484、
シエルトン、カントリー・リッジ・ドライ
ブ・51